



平成24年5月2日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

特別損失（関連会社株式の減損）の発生、  
営業外収益（子会社投資損失引当金戻入れ益）の発生、  
営業外費用（貸倒引当金繰入）の発生、及び  
業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成24年3月期決算を確定するにあたり、特別損失（関連会社株式の減損）の発生と、営業外利益（子会社投資損失引当金戻入れ）の発生、及び営業費用の発生（貸倒引当金繰入）が認められましたので下記の通りお知らせいたします。

又、これらの損失及び収益の発生と会計監査の進捗も踏まえ、平成23年8月11日及び平成23年11月28日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正することを、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上（関係会社株式評価損）

当社の100%連結子会社である昭和ゴム㈱につきましては、業績の不振が長らく継続していることから、財務基盤の強化と、事業の改善を行うことを目的として平成23年5月に5億円の増資を行い、又、平成24年1月には同じく当社の100%子会社である昭和ゴム技術開発㈱を吸収合併いたしました。

平成24年3月期の同社の業績につきましては、同社の改善努力により増収を確保し、足元の受注状況も引き続き改善基調にあります。同社を取り巻く景気動向を勘案いたしますと、急速な業績改善を見込むことは困難であると考え、当社が保有する昭和ゴム㈱株の簿価の内、同社の事業計画から回復可能と見込まれる金額を控除した466,000千円を関係会社株式評価損として計上することといたしました。

尚、当該関係会社株式評価損につきましては、当社単体の業績数値には影響を及ぼしますが、当社連結決算の業績数値に与える影響はございません。

2. 営業外収益の発生（子会社投資損失引当金戻入れ益）

当社の100%連結子会社である㈱ジョーワークホーレション及び昭和ゴム㈱につきましては、両社の財務状況を勘案し、保守的に当社において子会社投資損失引当金を計上しております。

スポーツ関連事業を行う㈱ジョーワークホーレションにつきましては、平成24年3月期の業績は好調に推移したことから過去最高益となる見込みとなり財務状況が改善されております。又、ゴム事業の昭和ゴム㈱につきましても、増収を確保したものの業績としては依然として厳しい状況ではありますが、増資やその他の連結子会社との合併により財務状況が改善されております。

このような状況から、両社とも財務状況の改善が認められましたので、会計上、子会社投資損失引当金の一部（112,240千円）の戻入れを行うことといたしました。

尚、当該子会社投資損失引当金は、当社単体の業績数値には影響を及ぼしますが、当社連結決算の業績数値に与える影響はございません。

### 3. 営業外費用の発生（貸倒引当金繰入）

当社の100%連結子会社である(株)ジョーワークホーレーション及び昭和ゴム(株)において、当社における両社の会計上への未収入金及び長期貸付金の取扱いにつきまして、両社の財務状況が改善傾向にあるものの親会社への債務弁済に関しては一定の留意が必要と判断し、保守的に当社において貸倒引当金を計上しております。

平成24年3月末時点において、両社に対する当社の未収入金はネットして46,810千円増加いたしましたので、同額貸倒引当金の繰入を行うことといたしました。

会計上の取扱いにつきましては、今期多額の貸倒引当金の戻入れが発生いたしましたので、当該貸倒引当金の戻入れと相殺して表示いたします。

尚、当該貸倒引当金繰入は、当社単体の業績数値には影響を及ぼしますが、当社連結決算の業績数値に与える影響はございません。

### 4. 連結業績予想数値の修正（単位:百万円）

24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	6,760	555	2,124	2,139	45.98
今回修正予想（B）	5,989	342	1,907	2,035	43.76
増減額（B－A）	△771	△213	△217	△104	
増減率（％）	△11.4	△38.4	△10.2	△4.9	
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期）	3,361	△547	△971	△3,260	△70.08

### 5. 個別業績予想数値の修正（単位:百万円）

24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	310	1,613	1,603	34.47
今回修正予想（B）	265	1,731	1,264	27.18
増減額（B－A）	△45	118	△339	
増減率（％）	△14.5	7.3	△21.1	
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期）	265	△459	△3,493	△75.11

### 6. 修正の理由

連結売上高につきましては、当社グループの内、主にゴム事業を行う昭和ゴム(株)において当期に震災の復興需要等の売上の増加を見込んでおりましたが、昨今の企業の設備投資の回復動向の遅れや円高の影響により売上予想を下回る結果となったこと、及び、当第1四半期末から連結子会社となった(株)ウエッジホールディングスにおいて為替（円高）の影響などにより当初当社が予想した売上予想を下回る結果となったことから、771百万円の減収となりました。

連結営業利益、連結経常利益につきましては、上記に記載させていただきました連結売上高の減収の影響により、それぞれ、213百万円、217百万円の減益となりました。

又、連結当期純利益につきましても、上記に記載させていただきました、連結営業利益、連結経常利益の減益理由の影響と同様であります。固定資産の除却や減損損失が発生しなかったことから減益幅が縮小し、104百万円の減益となりました。

一方、個別業績予想数値につきましては、個別売上高において、当期連結子会社の増加により予想以上の経営指

導料の増加も見込んでおりましたが、業績改善の過渡期にある子会社の経営指導料の減額をしたことにより45百万円の減収となりました。

個別経常利益につきましては、主に上記2.に記載させていただいております子会社投資損失引当金戻入益112百万円の影響により、118百万円の増益となりました。

個別当期純利益につきましては、上記個別、経常利益の増益（118百万円）もありましたが、主に上記1.に記載させていただいております関係株式評価損（466百万円）の影響額と相殺されることとなり、339百万円の減益となりました。

（業績予想に関する留意事項）

本資料における予想は発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以 上